

# 静岡県東部地域企業経営動向調査

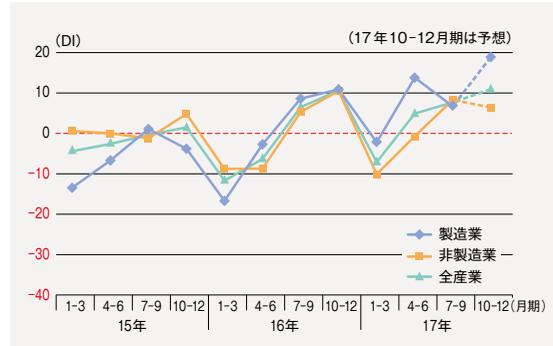
(2017年7-9月期実績、2017年10-12月期見通し)

## 1 業況概要(自社)

### 製造業では低下に転じる、非製造業では上昇が続く

静岡県東部地域における2017年7-9月期の業況判断DI(対前期比)は、全産業で7.7(前期4.9)と2期連続での上昇となった。製造業は、パルプ・紙・紙加工品と食料品でDIが大幅に低下したことから、全体では6.7(前期13.8)と低下に転じた。一方、非製造業では、旅館・その他宿泊所や建設業など各業種でDIの改善が進み、全体でも8.3(前期-0.7)と前期に続き上昇した。

2017年10-12月期の予想DI(今期比)は全産業で10.9と上昇が見込まれている。業種別では製造業で18.9、非製造業では6.4となっている。

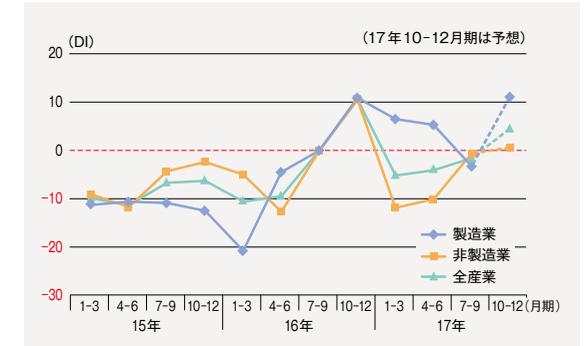


## 3 利益動向

### 製造業はマイナス水準に、非製造業は上昇続く

2017年7-9月期の全産業の利益動向DI(対前期比)は-1.6(前期-4.1)と2期連続で改善となった。製造業では、パルプ・紙・紙加工品と食料品でDIが大幅に低下した影響が大きく、全体では-3.3とマイナス水準に転じている。一方、非製造業では、旅館・その他宿泊所でDIが大幅に改善し、建設業でも上昇したため、全体では-0.6と上昇が続いている。

2017年10-12月期の予想DI(今期比)は、全産業で4.5と上昇が予想されている。業種別では製造業で11.1、非製造業で0.6となっている。



### 業種別天気図



(2017年4-6月期と7-9月期は前期比、10-12月期は今期比予想)

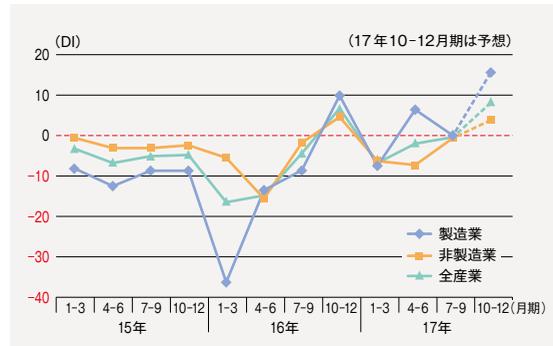
	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2017年4-6月期	☀️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
2017年7-9月期	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️	☀️
2017年10-12月期	☀️	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☀️

## 2 売上動向

### 製造業は低下、非製造業は上昇

2017年7-9月期の全産業の売上動向DI(対前期比)は、-0.4(前期-2.0)と2期連続での上昇となった。製造業は、食料品、パルプ・紙・紙加工品の大幅な低下により、全体では0.0となった。一方、非製造業では、その他小売・サービス業でわずかにDIが低下したが、旅館・その他宿泊所や建設業で上昇したため、全体のDIは-0.6と上昇に転じた。

2017年10-12月期の予想DI(今期比)は、全産業で8.1と上昇を予想している。業種別では製造業が15.6、非製造業も3.8となっている。



## 4 経営上の問題点

### 従業員関連の項目が引続き上位を占める傾向

前期回答割合が低下した「受注・売上の停滞・減少」が上昇し、2期ぶりに回答割合が最も高くなった。ただし、その他では「人材の育成」「求人難」「従業員

の高齢化」「人件費の増加」など従業員関連の項目が引続き上位を占める傾向にあり、特に「求人難」「人件費の増加」の順位が上昇している。

(単位:社、%)

	17年1-3月期		17年4-6月期		17年7-9月期		順位変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	121	48.0	99	40.6	110	44.5	↑
2. 人材の育成	117	46.4	109	44.7	108	43.7	↓
3. 求人難	88	34.9	75	30.7	86	34.8	↑
4. 従業員の高齢化	96	38.1	101	41.4	79	32.0	↓
5. 過当競争・製品安	63	25.0	58	23.8	67	27.1	→
6. 人件費の増加	48	19.0	51	20.9	53	21.5	↑
7. 生産・販売能力の不足	57	22.6	52	21.3	51	20.6	→
8. 原材料・仕入商品の値上がり	49	19.4	55	22.5	46	18.6	↓

#### 調査の概要

1. 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業 417社 回答数247(回答率59.2%)
3. 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間 実績:2017年7-9月期 見通し:2017年10-12月期
5. 調査時点 2017年8-9月

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。

その他、今回は人手不足、人材不足の問題についても調査をしています。調査結果は弊社ウェブサイト(<http://www.srgi.or.jp>)をご覧ください。